試験番号	TL49CM0124
初版	2024 年 9 月 10 日

試験実施結果報告書

島野式整体による

オキシトシンへの影響検証試験

試験実施機関

株式会社ＴＦＣラボ

1. 試験デザイン

本試験は、島野式整体の施術を行うことによりオキシトシンへの影響を検証することを目的とした。施術前と施術後の比較を行った。参加者は、体が疲れている、首・肩・腰に違和感や痛みがある健常な女性 9 名とした。

2. 参加者の選択基準・除外基準

1）対象

本試験の選択基準を満たし、また本試験の参加者となることに自発的に志願して試験の内容について十分な説明を受け、文書によって本試験参加に同意をした年齢 35 歳以上 55 歳以下の健常な日本人女性 9 名を対象とした。

2）選択基準

① 健常者（本試験における健常者とは、重篤な臓器障害や特定の疾病がなく、それらの関連する治療を受けていないもの及び何らかの薬物療法を受けていない者をいう。健常者に該当するか否かは、試験開始時本人の申告を基準とする。）
② 体の疲れを感じている、首・肩・腰に違和感のある者
③ 整体・スポーツジムなどに通っていない者
④ 文書による同意が得られる者
⑤ 以下の試験参加者除外基準に該当しない者

3）除外基準

① 心不全、心筋梗塞などの治療の既往歴がある者
② 疾患等による除外（心房細動、不整脈、肝障害、腎障害、脳血管障害、リウマチ、糖尿病、脂質異常症、高血圧、その他の慢性疾患等で治療中の者）
③ 通院及び医薬品（漢方薬を含む）を常用している者
④ 唾液が出にくい者
⑤ 整体・スポーツジムに通っている者
⑥ 1 ヶ月以内に他の臨床試験に参加した者または現在参加している者

4）倫理審査委員会および参加者の同意

本試験はヘルシンキ宣言の精神に則り、参加者に対して本試験の目的と方法を十分に説明し書面による同意を得て実施した。

3. 試験対象（画像 1）

試験対象品は、島野式整体（金沢バランス整体院）は柔道整復師　院長　島野啓志氏が開発した手技であり、「幸せホルモン」であるオキシトシンの分泌を促しリラックスした状態にする。手技方法は左手で脳の後頭部に手を当てて脳内のバランスを調整することで下垂体の機能向上を促し、右手は心臓のポイントへ手を当てることで心臓の機能向上を促す。下垂体の機能を向上させることでオキシトシンが血中に放出される。血中に放出されたオキシトシンは、血液にのって心臓で受容される。一連の循環を手技によって促す。手技を行う際、できるだけ手を「密着させる」「患者の頬に腕を付ける」などの皮膚接触によりオキシトシンの分泌を促す。もう 1 つは、施術台の上に仰向けになり、施術者は左手で後頭部の付け根湾曲部分を少しつまむ感じで引っ掛けを上に軽く引っ張り、右手は胸のくぼみから 3～4 ㎝の部分を手のひらの手首上の部分で少し下に引っ張るように手を置きキープする。

【画像 1】

4. 試験機関

試験実施機関は株式会社ＴＦＣラボが行い、試験実施場所はＴＦＣラボ測定室で実施した。

5. 試験スケジュール

本試験は、2024 年 7 月 24 日に実施した。試験スケジュールは表 2 の通りである。

【表 1：試験スケジュール】

1	スクリーニング
2	試験説明・待機
3	1 回目唾液採取
4	2 回目唾液採取
5	施術
6	3 回目唾液採取
7	有害事象

＊有害事象等が発生して、追跡が必要な場合は提携医療機関への来院を実施する。

＊経過観察は試験終了後 2 週間とする。

6. 試験品使用方法

参加者に対して症状のヒアリングを行い、島野式整体の手技を 20 分間行った。

7. 試験内容

参加者は試験説明・同意取得をしてから来所 10 分後に 1 回目の唾液摂取を行い、1 回目終了から 10 分後に 2 回目の唾液摂取を行った。その後、島野式整体の施術を 20 分間行い、終了後に 3 回目の唾液採取を行った。唾液採集量は 5μl で採取後に-50℃以下の冷凍 BOX に保管した。オキシトシン量の検査は株式会社エアープランツ・バイオが実施した。

8. 試験中

会話を慎み静かに仰向けに横たわるように指示した。

9. 評価方法

評価方法は、施術前と施術後のオキシトシン量の比較を行った。

10. 統計方法

各データは記述統計値（平均、標準偏差）とし、施術前・施術後を F 検定で行った後に paired t-test で検定を行った。検定ソフトは Statcel4 を使用し有意水準は 5%とした。

11. 利益相反

本試験に関わる依頼企業と実施機関との間において利害関係はない。

12. 結果

本試験は 9 名（平均年齢 45.2±3.9 歳）でスタートし離脱はなく 9 名が完了した。完了者全員有害事象を生じた者はいなく不適格症例はなかったため 9 人を解析対象とした。

客観的指標の変化（表 2）

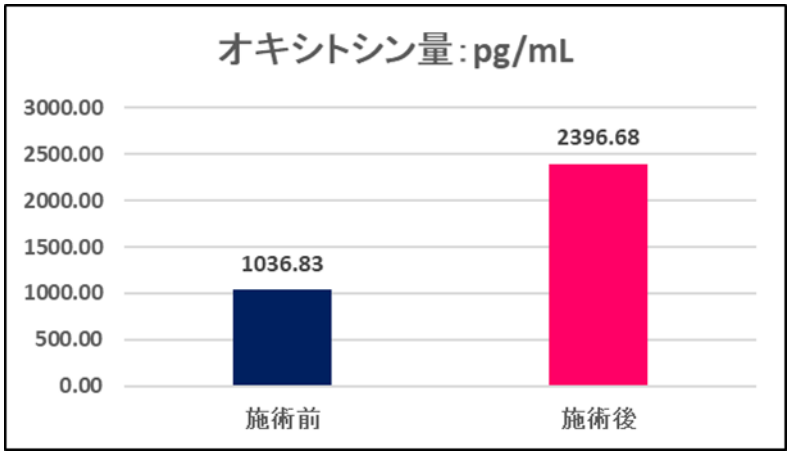
オキシトシン量は施術前が 1036.83pg/mL に対し、施術後は 2396.7 pg/mL で 1359.8 pg/mL 増加し有意差が認められた。

【表 2：客観的指標の変化】

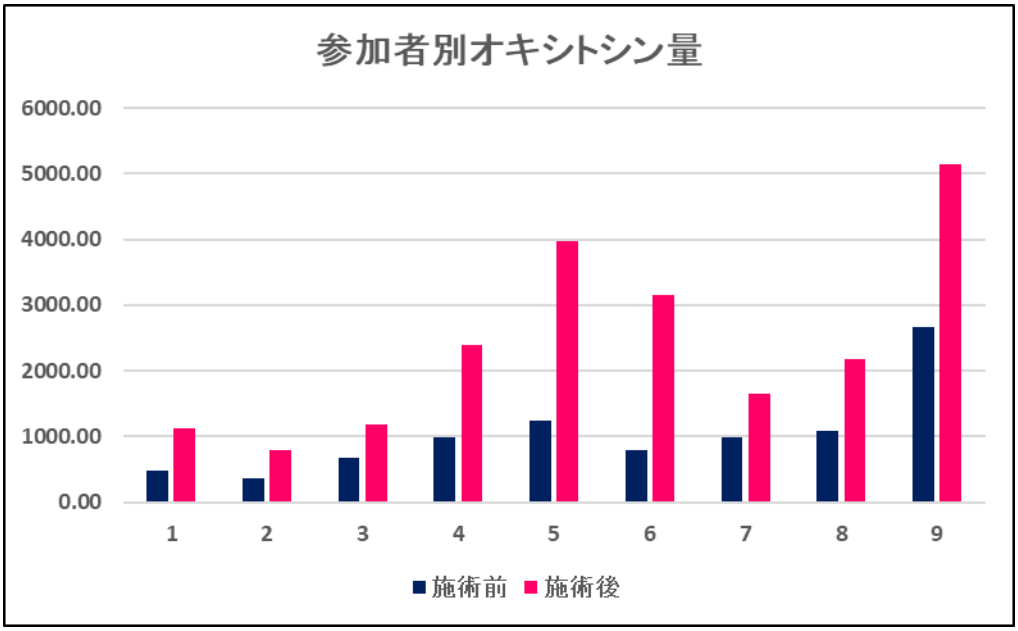
検査項目:単位	測定値		変化量	p値 経時比較
	施術前	施術後	使用前−使用後	使用前−使用後
オキシトシン量:pg/mL	1036.83 ± 677.49	2396.68 ± 1449.04	1359.84 ± 918.40	<0.01 **

平均±標準偏差, **:p<0.01

【グラフ 1：客観的指標の変化】



【グラフ 2：参加者別客観的指標の変化】



13.　結論

島野式整体の施術を行うことにより、オキシトシン量が施術前より 131.2%増加し効果が認められた。試験中に身体の異常を訴える者はおらず、経過観察期間 2 週間後においても身体に異常を訴える者はいなかったので安全性に関して問題ないことが確認された。

試験実施機関
株式会社 TFC ラボ
代表取締役　小島　裕久